

短大では
日本初

新しいチャレンジ！！

2年間の半分を企業実習で学ぶ
産学連携キャリア創造コース

大阪夕陽丘学園短期大学
キャリア創造学科 産学連携キャリア創造コース
准教授 神殿織江

大阪夕陽丘学園短期大学

創立82年の伝統と実績

関西でも有数の歴史ある短大



● 皇太子御成婚記念館完成後の学園全景 (1960年)

建学の精神「愛と真実」
良き人間を育てる
教育の原点となっている



卒業生：13,000名超

就職決定率：99.3%
2020年度

大阪夕陽丘学園短期大学

食物栄養学科



キャリア創造学科



製菓クリエイトコース



ブライダルデザインコース



ビューティーデザインコース



ファッションデザインコース



産学連携キャリア創造コース



- ▶ **新卒者の離職率の現状**
- ▶ **新コースの軸 – コーオプ教育**
- ▶ **2年間の流れ**



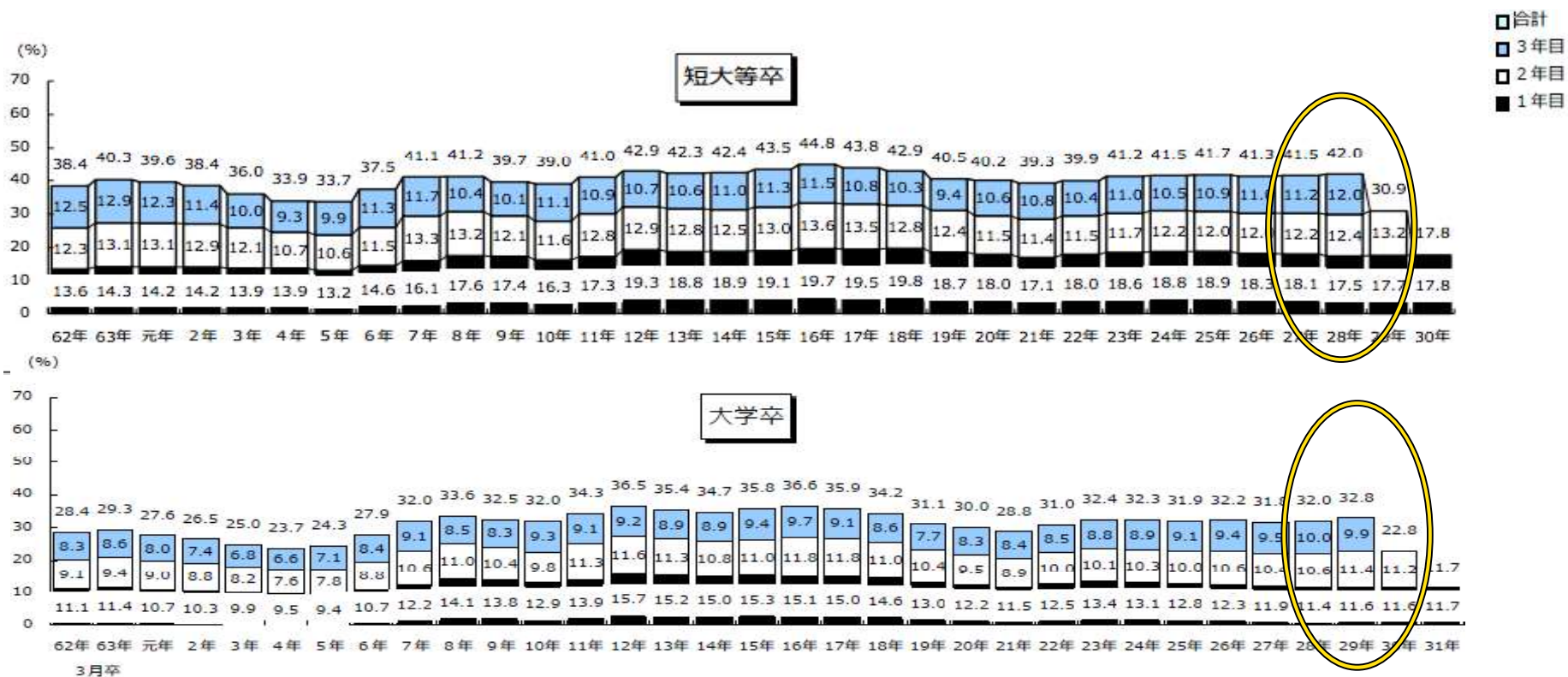
新規学卒就職者の在職期間別離職率の推移

40%以上が3年以内に辞めている

主な理由
・仕事が向いていない
・思っていた仕事と違う

重要なキーワード

→ 自分を知る
→ 社会、仕事・企業を知る





- ▶ **新卒者の離職率の現状**
- ▶ **新コースの軸 – コーオプ教育**
- ▶ **2年間の流れ**

コーオペ教育:

アメリカで約100年の歴史をもち、人材育成に成果を上げている。現在では、北米、欧州を中心に、大学生や大学院生にとって重要な位置付けとなっている。理論と実践の統合による体系的教育法

学内での学修

- ・自分の考えを言語化し表現する
- ・互いにフィードバックし合う
(チームワーク)



長期企業実習

- ・複数の企業で実習経験
- ・実習期間が単位となる
- ・有給期間が含まれる

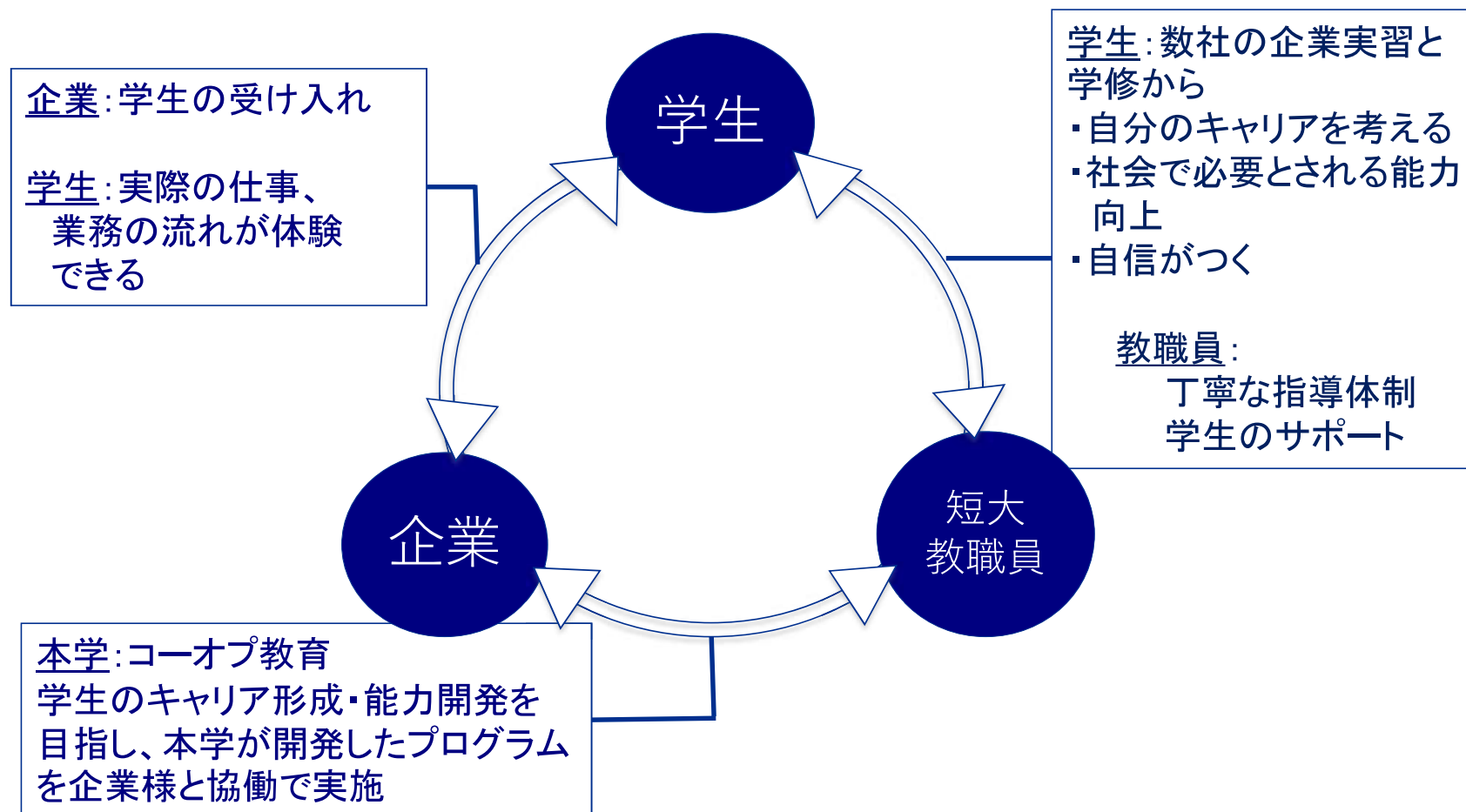
コーオペ教育による主な効果

学生	企業
目標の明確化に繋がる	人材ニーズに対処できる柔軟性を得る
職場文化の理解	コスト効率の高い長期雇用及び従業員獲得の可能性を得る
座学の理論と職場実習を統合する能力	従業員のダイバーシティが高まる
就業の機会を得る	大学とのパートナーシップの強化
強み、弱みの把握、社会人基礎力向上	持続可能な企業として人材を重視されている企業のアピール
キャリアの構築に繋がる	メンターとしての担当者の気づき、支援能力の向上に繋がる
責任ある市民の態度が身につく(習慣、あり方)	産学連携に取り組まれているアピールとなる

参照：世界コーオペ教育協会(WACE)、アメリカ・ペンシルベニア州教育省コーオペ運営ガイド

産学連携キャリア創造コース

コーオペ教育が軸

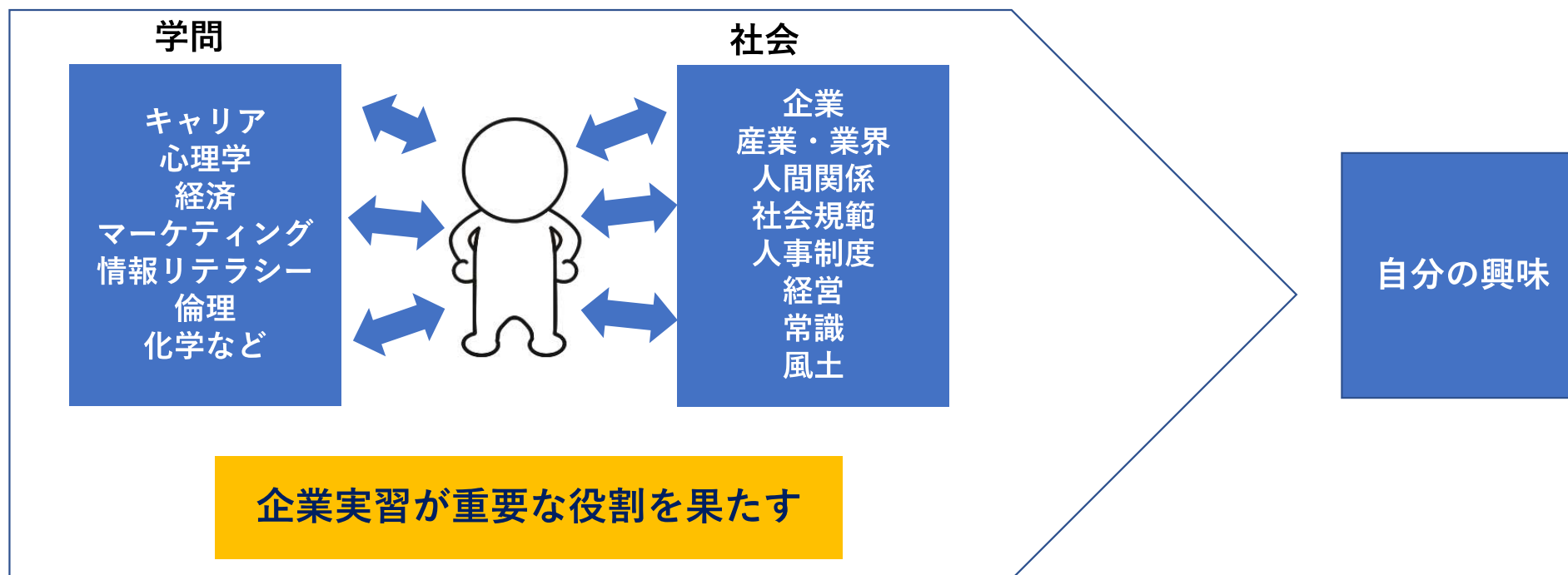


日本型コーオプ教育に組み換え

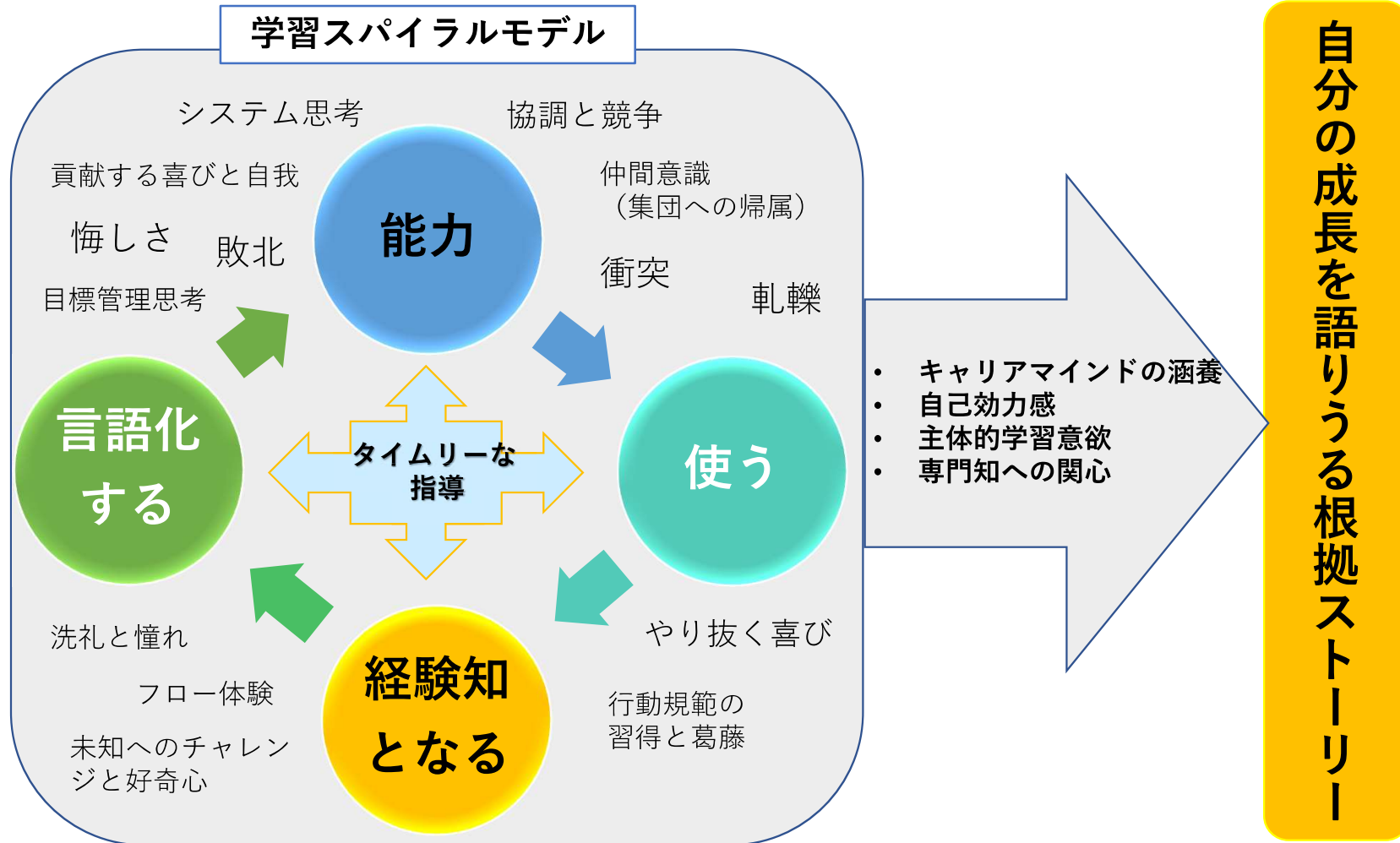
本学学長の東田(当時:京都産業大学教授)がアメリカのコーオプ教育を基に、2014年、京都産業大学で先駆的に日本型コーオプ教育に組み換え、多大な成果をもたらす。
文科省好事例集に掲載、メディアからも注目される

→ 短大向けにカリキュラムを構築

2本の支柱: 『自己と学問の関わり』『自己と社会の関わり』



コーオペ教育の学習スパイラルモデルと成長のストーリー





- ▶ **新卒者の離職率の現状**
- ▶ **新コースの軸 – コーオプ教育**
- ▶ **2年間の流れ**



新コース

産学連携キャリア創造コース



授業: Group Based Learning (グループベースでの学び)

- ▶ 事前学習が企業実習の効果を高める
- ▶ 各自PCを活用

グループワーク、グループ討議



人と協力する力
自分の言葉で自分の考えを説明する力
人前で発表する力
自ら考えて行動する力

プロジェクト演習 I、II (目標管理、企業研究)

* 6月～7月: 企業の担当の方に企業説明をお願いしている

* 複数回のマナーの講義

ワークエシックス

(労働倫理: 企業が重要視する規範、仕事に対する責任感)

ワークエノミクス

(提携企業の事業研究、企業の経済活動と経営戦略)

キャリアデザイン、情報リテラシー、心理学、他

授業風景



1年後期の企業実習がスタートする時点の学生の到達姿

基本的態度 あり方

- 時間管理、自己管理ができる
- 挨拶、受答えの徹底
- マナー(態度、言葉遣い、他者を尊重)、報連相が徹底している
- 他者のために汗をかけるホスピタリティ精神
- 自分の心に問い、ダメなものはダメと制御できる倫理観

必要とされる 力

- 他者と協力、協調性の体制がとれる
- 企業実習において設定した目標に対して、達成するための行動がとれる
- 自分の考えを言語化でき、他者と共有できる
- 失敗を学びと捉え、それを活かして次に繋げるPCDAの習慣ができている
- 指示待ちでなく積極的に行動できる
- PC(ワード、エクセル、パワーポイント)の基本操作ができる

実習前: **企業実習の目標**(実習後、考え方、態度、習慣等どうなっていたいのか?)を設定し実習に取り組む

実習中: 学生は報告書を作成し、企業担当者、教員が**フィードバック**を行い励ましながら**学びを言語化**する

1年後期: 1人3~4社、1社約1か月(企業に週3日、大学に週2日)

2年前期: 企業: 3ヶ月、週4日、大学: 週1日

全員で
約70時間の事前研修

近畿日本ツーリスト、他の
ビジネス研修

グループでリサーチ&
フィールドワーク&
ディスカッション

↓
課題解決

↓
発表

swissôtel NANKAI
OSAKA
スイスホテル南海大阪
スイスホテル南海大阪

ONWARD
(株) オンワード樫山

(株) セントラルフルーツ

NAKAZAWA KENPAN
ナカザワ建販 (株)

田辺三菱製薬プロビジョン株式会社

Kintetsu
近鉄百貨店

司法書士事務所
ともえみ

株式会社 アクトワンヤマイチ

株式会社
アルゴセキュリティー
Argo-Security Co., Ltd

M'S PLANNING

その他

有給

1社

本人の希望、企業の希望を
マッチング

例) **1年後期(無給)**
 保険:大学の保険でカバー
 実習:月、火、水
 学内:木、金(授業、振返り、課題解決)

2年前期(有給)(参考:大阪府の最低賃金:964円)
 保険、交通費を企業様でご負担頂く
 実習:週4日
 学内:週1日(授業、振返り、課題解決)

10月	11月	12月	1月
学生A (1人~複数)	学生B (1人~複数)	学生C (1人~複数)	学生D (1人~複数)

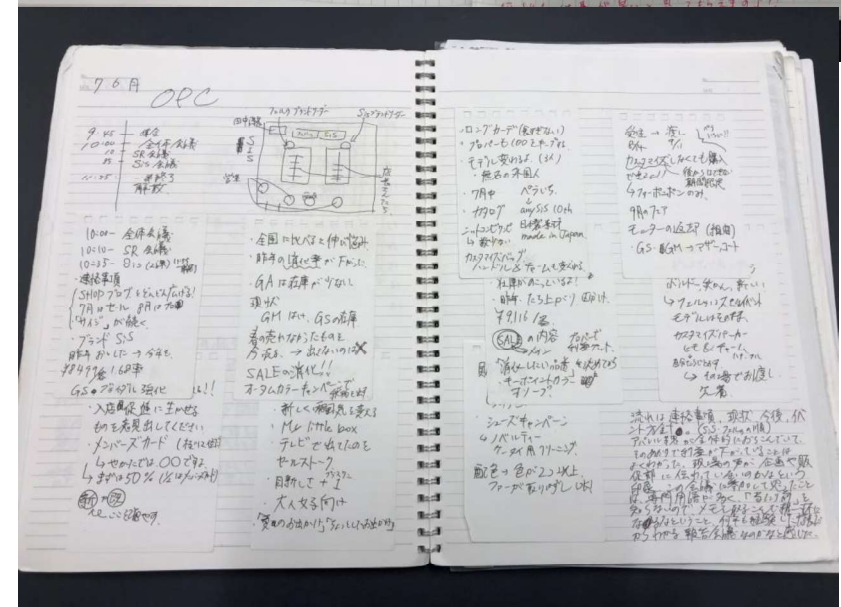
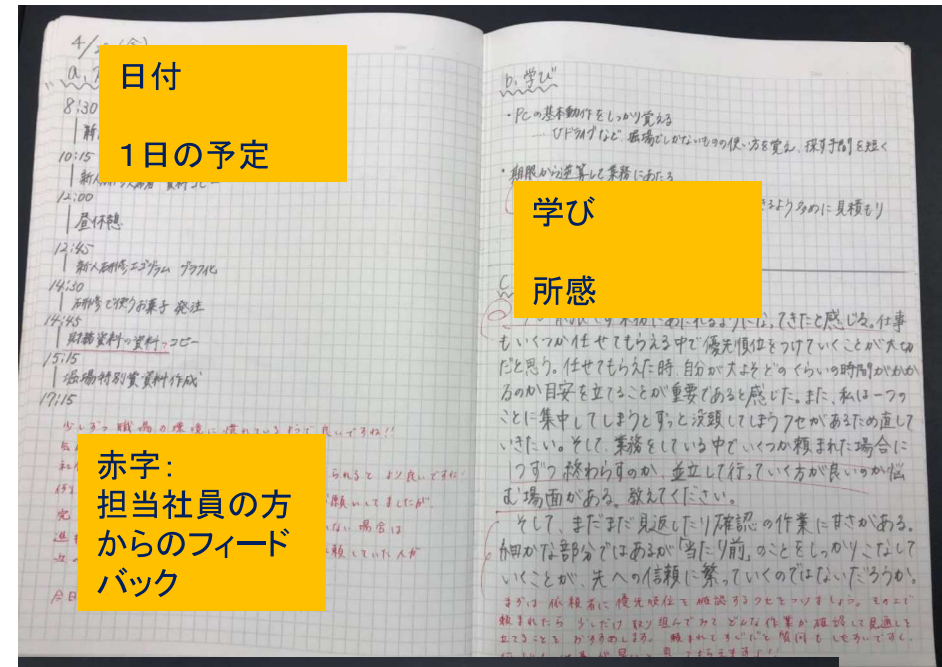
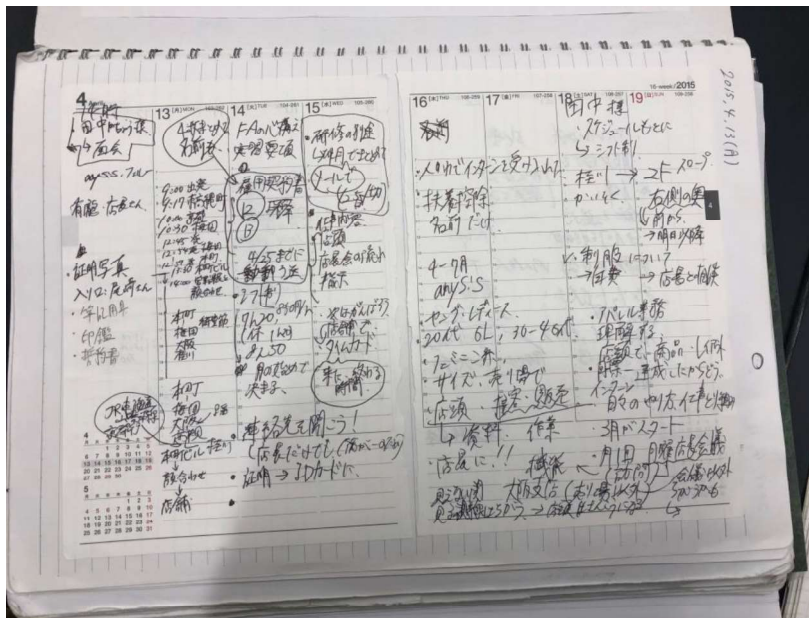
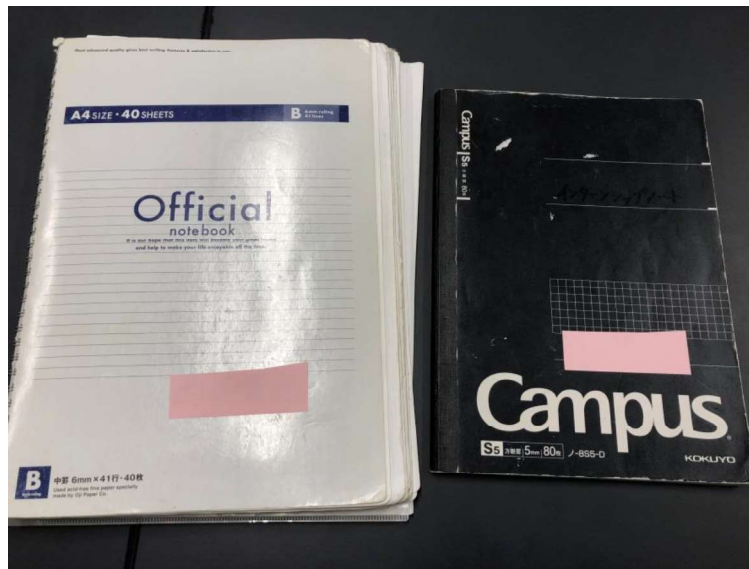
企業様と
 本人の希望により
 担当教員
 がマッチ
 ング

4月半ば A部署	5月 B部署	6月 C部署	7月 D部署
学生A	学生A	学生A	学生A

- ・仕事内容: 配属部署で必要とされる基本的な業務(例:雑務、商品整理、在庫確認、接客、会議の設定・片付け、資料コピー・配布、郵送物整理・配布、資料作成、事務処理、営業同行など仕事全般)
- ・出勤管理: 日報 or 出勤表
- ・日報、週報、月報: 学生持参のノートにフィードバックを頂く
- ・初日: 学生によるキックオフプレゼンを行う(目標、戦略、戦術)
- ・最終週: ご指導いただいた部署にて、学生による成果発表を行う
- ・お客様扱いでなく、仕事や取組み姿勢を実習で学びたいと考えているため指導・注意をお願いする
- ・実習中は担当教員が定期的に企業に訪問する

日報 参考例

東田が京都産業大学で行ったコーオプ教育で、実際に当時の学生が作成したノート



インターンシップ評価表

最終週：両者による評価
 学生本人による自己評価の後、
 担当者さまに持参し評価頂く

例)

①	マナー（言葉遣い、態度）					
・	挨拶はできていたか	1	2	3	4	5
・	敬語はできていたか	1	2	3	4	5
・	発表を聞く態度は良かったか	1	2	3	4	5
②	周りをよく観察し、率先してスピードよく動く					
・	意欲（目標を高く設定し、その達成のため積極的に行動する）	1	2	3	4	5
・	適応力（新たな環境に適応し、対処していける）	1	2	3	4	5
・	共感力（人の考えや心情を受け入れ、理解しようとする態度）	1	2	3	4	5
・	協調性（自分の主張を持ち、他の意見も受け入れながら互いに協力し問題解決しようとする）	1	2	3	4	5
・	自主性（自らリスクを負い、自分の考えで行動しようとする）	1	2	3	4	5
・	創造的態度（常に、新しいものや方法を生み出そうとする態度）	1	2	3	4	5
・	指導性（集団の中心になって、物事を推進しようとする姿勢）	1	2	3	4	5
③	プレゼンテーション					
・	プレゼンテーションの組み立て方が良かった	1	2	3	4	5
・	グループとしてまとまりのあるプレゼンであった	1	2	3	4	5
・	聞き手の立場に立ってプレゼンをできていた	1	2	3	4	5
④	インターンシップ全体を通して					
・	成長を感じられた	1	2	3	4	5
・	これからの学生生活に繋げていけるものであった	1	2	3	4	5

⑤ 良かった点・改善点など、何かコメントをお願い致します。

全体的には協調性の定義のように自分の主張を持ち、メンバーの意見も受け入れながら協力して問題解決ができましたので高い評価をつけました。最後のプレゼンテーションも立派でした。一方、創造的態度を3としました。活動の過程においても自分自身の体験に基づく課題提起やターゲットをどこに絞るのかの重要性に気付く事ができる程度でしたが、新しい知識や情報に対して、以前に学んだことや体験したことと関連付けて考える習慣をこれからさらに身につけていって欲しいと思います。

新コース

産学連携キャリア創造コース

1年前期

- ・6月:企業の担当者の方に企業説明をお願いしている
- ・複数回のマナーの講義

1年後期

2年前期

2年後期

無限の可能性

事後学修:大学に戻り、実社会に出る準備

- ▶企業が行う新入社員研修レベルの学習キュカリラム
- ▶ゼミ: 成果の報告、卒業研究発表の準備
振り返り = 自信がつく
次へのステップ

研究発表:

保護者の方々、企業担当者、教職員にご参加を頂き
成果発表

卒業

- ・即戦力の能力:
自信をもって社会にでる
- ・複数の企業実習を通して納得のいく企業選択
実習企業から内定の可能性
- ・さらなる学び:
大学に編入



コーオブ教育の成果の可視化

企業実習の成果を可視化するため、「GPS-Academic(ベネッセi-キャリア社)」を2回受検し、比較する予定

事前(7月頃)vs事後(1年後期終了時点)で3領域9項目の汎用的能力を測定

思考力 : 批判的思考力、協働的思考力、創造的思考力

姿勢態度 : レジリエンス、リーダーシップ、コラボレーション

経験 : 自己管理、対人関係、計画・実行

結果は後日、何らかの形で発表予定

産学連携キャリア創造コースに入った学生が得られること！

自分の可能性を広げる

自分に制限をかけずに挑戦できる態度が身につく
新コースでの経験・学びは学生の**未来の可能性**を大きく広げる

自信がつく、能力向上

学習、企業実習で、「**やってみる！**」「**観察→実行→振り返り→修正**」の**スパイラル思考**が身に付き、体験すべてが自分の**能力、自信**となる
社会で即戦力としてスタートできる！

価値観に沿った選択
2つのキーワードを体現

- ・自分を知る
- ・社会・企業・仕事を知る

企業実習を通して**自分の働く上での価値観**が理解でき、自分にとって、より望ましい**企業選択**になる
実習に行った企業からの内定の可能性！
或は、**4年生大学への編入**の道も

多くの仲間ができる！

同じ体験を共にした仲間！
励まし合い、愚痴り合い、勇気をもらい**永遠の仲間**
皆さんの成長に惜しみないサポートをする**教職員**
お金では買えない**一生の宝**となる

ご興味のある 高校の先生方は



大阪夕陽丘学園短期大学
入試広報課 06-6775-2951
<http://www.oyg.ac.jp/js/>

企業さまは



キャリア創造学科
産学連携キャリア創造コース
准教授 神殿織江(コドノ オリエ)
Tel: 06-6771-5183

是非、ご連絡ください！